



音楽に合わせてダンスの練習をする子どもたち

本番へ「しっっかり練習」

子どもら13人 10月ダンス公演

弘前

弘前市のひろさき芸術舞踊実行委員会は19日、地元の子どもたちによるダンスパフォーマンスの舞台公演（10月開催）に向けて、会場となる同市上瓦ケ町のスペースデネガで初の全体稽古を行った。公募で選ばれた小学2

年生から高校2年生までの13人が、2カ月後の本番を目指して真剣に取り組んだ。同実行委は、芸術舞踊を通じて子どもたちの感性や協調性を養おうと、弘前市でダンススタジオ「FUNKY STADIUM（フアンキースタジアム）」を経営する岩淵伸雄さん（28）が中心になり、

6月に設立した。初回公演を10月20、21日（1日2回）に設定し、8月1日に出演者のオーディションを実施。応募者46人の中から、男子1人、女子12人を選んだ。

全体稽古初日で子どもたちは、あらかじめ与えられた曲の一部を選んで自ら創作した踊りを一人ずつ披露。自

分の順番でない時も、音楽に合わせて熱心に踊っていた。

公演は1時間15分で、13人は今後約40回にわたって練習する。同実行委の委員長で、

公演の総合演出も手掛ける岩淵さんは「子どもたち一人一人の能力を前面に出した舞台にしたい」。最年長でリーダーの西村椎那さん

（17）＝弘前市＝は「みんなできしっっかり練習し、楽しく演技ができれば」と話した。

（若佐谷雅之）